

1 中学校国語科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

2 評価と評価方法

観点	知識及び技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2年 内容	(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	(2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
方法	定期テスト 単元テスト 漢字小テスト 文法小テスト 授業中の言動や話し合い活動の様子 自力解決時の様子 学習の記述内容 学習の振り返りや自己評価等の記述内容 観察		

3 授業計画（2年）

4月	5月	6月	7月
1 豊かに想像する（詩・物語・話す聞く・漢字） 全国学力学習状況調査・標準学力検査		2 わかりやすく伝える（説明文・書く・漢字） 定期テストⅠ	3 ものの見方感性を養う（物語・文法・随筆・書く・漢字）
9月	10月	11月	12月
4 論理的に考える（説明文・話す聞く・漢字）	5 古典に学ぶ（古文・漢字）3年学力調査	6 情報を関連づける（図表・記録・書く・漢字） 定期テストⅡ	7 読みを深め合う（詩・書く・小説・漢字）
1月	2月	3月	
8 視野を広げる（説明文・書く・文法・漢字）3年実力テスト	9 振り返って見つめる（小説・話す聴く書く・文法・漢字） 定期テストⅢ・3年模擬テスト		

4 授業の進め方

- (1) 前時の内容を振り返り、めあての提示をする。
- (2) 帯活動で漢字の練習を行い、漢字力の向上につなげる。
- (3) めあてに対して自己の目標をもたせる。
- (4) 教科書を音読し、文章の内容を捉える。
- (5) 自ら考えたり他者の考えに触れて、考えを広げたり深めあたりする時間を設定する。
- (6) ノートやワークシートを活用し、授業の内容をわかりやすくまとめる。
- (7) 教師の指示、説明は簡潔にし、対話を中心とした授業展開を心がける。
- (8) ICT等を活用し、視覚的に伝わりやすい提示の仕方を心がける。
- (9) 単元によっては、ICT 端末を活用しての交流も行う。
- (10) 授業終了 5 分前にはめあてに対しての振り返りをし、全体で共有する。

5 授業で使うもの

教科書 国語の学習 漢字ノート、筆記用具（シャーペン、消しゴム、定規、蛍光ペン2色 赤ペン）
国語ファイル ノート

6 その他

・ノートの使い方

- (上段) ①日付、教科書のページを書く。
- (中段) ①本時のめあてを書く。②板書内容を書く。③丁寧な字で書く。④空白のページをつくらない。
⑤色ペンも使用する。⑥工夫した書き方をしてもよい。
- (下段) ①「めあて」に対する自己評価（ABC）と「振り返り」を記入する。
※「めあて」からどのような力が身についたか、なぜできなかったか。
②授業のメモを書いたり、漢字練習をしたりする。
③辞書で調べたことや言葉の説明を書く。
- (その他) ①課題を早く終えた時は、ノートまとめを行う。
②ノートは原則として、一時間ごとにページを変える。